

CSRを果たすために

グループ体経営

「One-NITTO」の実現と、「質の向上」をめざします



上」を図ることが大切です。事業の成長・量的拡大だけでなく、ブランド価値の向上やCSRを果たしていく活動の推進など、無形資産(インタンジブル・アセット)の充実をめざして、グローバルに、グループ全体が一体となって取り組んでいく必要があると考えております。

従業員一人ひとりの質を高め、オープンな企業文化を創造します

「企業の質」を向上させるには、日東電工グループを支えている「従業員の質」の向上が不可欠です。やる気やモラルが高く、自分自身の可能性を常に追求し、広げていくことができる——そんな質の高い「人財」が企業の質を高めていくからです。

そこで私たちは、「日東University」をはじめとする多彩な教育研修に今後いっそう力を入れ、「人財」を育成していきます。一方、従業員の方々には、自分自身の質を向上させ有用な「人財」となるために自ら努力して欲しいということを申し上げます。

また、社長である私にも「人財」育成への責任があります。この責任を果たすために、できるだけ多くの従業員と会い、自分の言葉で話したいと考え、2005年度は30歳前後の従業員約400名と面談いたしました。この面談では、私が社長として考えていることを伝え、従業員が考えていること、日々仕事の中で感じていることを聞かせてもらいました。この中で、私自身多くのことを学びました。

「グローバル・エクセレント・カンパニー」に向けて、企業としての質の向上を重視します

日東電工グループは2005年度、中期経営計画「One-NITTO Dream Plan Step2」をスタートさせ、初年度の取り組みを進めました。

この計画の目標は、2007年度に「グローバル・エクセレント・カンパニー」と認められる企業になることです。そのためには、財務面での目標達成はもちろんのこと、企業としての「質の向

中期経営計画「One-NITTO Dream Plan Step2」

2007年度に「グローバル・エクセレント・カンパニー」へ

将来投資、社会コストをまかなったうえで「質をともなった成長」をしてゆく

ブランド価値向上

- ・エモーショナルキャピタル向上
- ・グループ体感の醸成
- ・社外からの等身大評価

さらなる事業成長

- ・グローバルニッチトップ製品倍増
- ・グローバル化
- ・事業の選択と集中

CSR推進

- ・コンプライアンス
- ・シンプルなルール
- ・環境・安全・品質で社会と共生する会社
- ・日東電工グループらしい社会貢献

成長を支えるOne-NITTO事業・経営インフラの強化

- ・連結経営のための情報共有
- ・グループでの人財育成、活用
- ・グループ最適な組織構造

日東電工グループ ブランドステートメント

変化の瞬間に 光る技術で しなやかに

“変化の瞬間” ———— それはチャンスであり、新たな成長の出発点です。
 “光る技術” ———— それは私たちの自信です。
 “しなやかであること” ———— それは私たちの姿勢です。



これからも、一人ひとりの力を結集し、揺るぎないパワーで社会環境と調和しながらグローバルに突き進んでいきます。私たちは、「Flexible Technology Company」日東電工グループです。

こうしたやり方は、決して効率がよいとは言えません。しかし、互いに自分の言葉で話し、相手を理解し、自分を理解してもらう努力をすることは、とても大切なことだと考えております。

多くの従業員と「オープン」に話せる企業文化をつくることは私の仕事であり、今後もこうした面談を継続することが、日東電工グループの強みになっていくものと信じております。

日東電工グループ全体が一体となってCSR活動を推進していきます

2005年度のCSR活動においては、「コンプライアンス(法令遵守)」「環境・安全・品質のレベルアップ」「社会貢献」をグループの重要課題としました。

コンプライアンスについては、グループ約27,000名の従業員すべてを対象とする「日東電工グループビジネス行動ガイドライン」の作成に取りかかり、2006年度からの公開・活用を予定しています。

環境・安全・品質活動に関しては、それぞれグループ統一指標を設定し、定めた目標を達成するための活動に取り組んでいます。

製造業の果たすべき必須条件として、信頼される品質体制、環境負荷の低い製品開発、環境・品質に配慮した製造工程、安全な職場の実現は欠かせません。これら課題に対して、今後、自分たちの弱い部分に注目し、現場から間接部署まで一丸となり、またグループ全体が一体となり、日々の活動を強化していきます。

また、2006年度から「n倍発想からの脱却」をグループ全体のスローガンとして掲げています。これは「仕事量が2倍になったら人や時間が2倍必要になる」「生産量が2倍になったら産廃発生量も2倍になる」といった考え方から脱却し、仕事の質、効率を根本的に改革する、という意味です。すべての課題に対して「今までの延長線上に解はない」という姿勢で臨んでいこう、という決意を込めました。

企業活動はさまざまなステークホルダーに支えられており、自社の利潤のみを追求しては存続・維持・発展はできません。「オープン(に情報を共有化し)・フェア(に議論を行い)・ベスト(決まったことにベストを尽くす)」の精神で、ステークホルダーのご要望・ご意見と真摯に向かいあうこと、誠実にステークホルダーへの責任を果たしていくことが、事業を成功させるための根幹であると確信しております。

本報告書を通じ日東電工グループの考え方や行動をご理解いただくとともに、率直なご意見、ご感想をお寄せ願えれば幸いです。

2006年7月

日東電工株式会社 代表取締役社長

竹本正道

経営理念と行動基準

経営理念

「新しい価値の創造」
 日東電工グループは、オープン・フェア・ベストを行動の原点として、新しい発想で人々の暮らしと産業の未来に貢献します。

- ・お客様に満足される新しい機能を持った製品やサービスをスピーディーに創造します。
- ・社員の自主性と独創性を尊重し、自由闊達にチャレンジできる職場環境を実現します。
- ・健全な事業活動を展開し、適切な情報開示とコミュニケーションにより株主の信頼に応えます。
- ・企業の社会的責任を常に念頭に置き、地球環境の向上と地域社会の発展に貢献します。

行動基準

私たちは、オープン・フェア・ベストの精神に則り、日東電工グループの社員としての誇りと気概を持って誠実に行動します。

1. 最高の品質とサービスをお客様に提供します。
2. 安全を全てに優先します。
3. 常にチャレンジ精神を持って行動します。
4. 法と倫理に基づき良識に従って行動します。
5. 自然環境の保護と省資源に貢献します。